




SPACE SHOWER

CORPORATE PROFILE
2019 – 2020

A dark, atmospheric photograph of a concert. In the foreground, the neck and headstock of a guitar are visible, extending from the right side towards the center. The background is filled with a crowd of people, many of whom have their hands raised in the air, illuminated by warm stage lights. The overall mood is energetic and communal.

共感、共鳴、そして共創へ。

A photograph of a musician performing on stage. The musician is in silhouette, playing a stringed instrument, possibly a guitar or a similar instrument. The lighting is dramatic, with a bright light source on the right side, creating a strong glow and casting long shadows. The background is dark, and the overall mood is artistic and focused.

私たちは信じている。
アーティストやクリエイターの可能性を。
私たちは信じている。
その可能性は計り知れないほどの力を持っていると。

だから、私たちはその可能性や価値を
高め、広め続ける。

彼らが生み出す作品に共感し、彼らの世界観に共鳴する。
それがうねりとなって、新たな文化を
世の中と共に創り上げることができると信じて。

スペースシャワーの事業モデル

社外の機能

AI、ビッグデータなどのさまざまな最先端技術や、あらゆる価値あるサービス

BIG DATA

社内外の機能を結びつける

社内のあらゆる機能を複合的に融合、さらに積極的に社外とのアライアンスやM&Aを推進

AI

CONTENTS
IP

アーティスト
クリエイター

価値を高め、広める

アーティストやクリエイターが
生み出した作品を
社内外の機能と融合することで、
コンテンツIP (知的財産) として価値を高め、
広めていく

IoT

社内の機能

音楽と映像を中心とした、
企画制作、運営、販売、配信などの
あらゆる事業

さまざまな機能を取り込み、 結びつけることで価値を高めていき、 可能性を広げていく。

スペースシャワーネットワークは、アーティストやクリエイターの才能・魅力を見出し、
その作品に付加価値をつけ、多様なメディアやサービスを通じて発信。
さまざまな「場」「形」で、アーティストやクリエイターから生み出された
コンテンツIP (知的財産) の価値を高め、広めていくことを重点戦略としています。

当社独自の強みを活かすだけでなく、
社外のあらゆる技術・サービスとのアライアンスやM&Aの活用を進めていき、
全く新しい存在感のある音楽エンタテインメント企業となることを目指しています。

価値を高める



アーティスト
マネジメント



音楽レーベル



映像
コンテンツ制作



ライブ・イベント
企画運営

価値を広める



音楽専門
チャンネル



デジタル
サービス



海外展開



ライブハウス



デジタル
音楽配信



CD/DVD
製造販売



コラボカフェ



書籍・雑誌



価値を高める

アーティストやクリエイターの持つ魅力を見出し、その魅力を磨き上げること——。彼ら・彼女らの個性や想いを尊重しながら、誰よりも近い距離で寄り添い、パフォーマンスが最大限に発揮されるよう、アーティストやクリエイターたちの活動をサポートしていきます。



アーティストマネジメント



アーティストの可能性を見出し、 アーティストに寄り添い、支える

これからの音楽業界を牽引し、新しい文化を創っていく可能性を秘めたアーティストを見出し、マネジメントを行います。誰よりもアーティストに寄り添い、音楽活動を全力で支えています。

※(上段左より) アルカラ / Age Factory / GRAPEVINE / Suchmos
(中段左より) SISTERJET / Tempalay / 中村佳穂 / PAELLAS
(下段左より) ベッド・イン / 前野健太 / MONO NO AWARE / ゆるふわギャング



音楽レーベル



販売や配信を通じ、 新たなアーティストの出会いを提供する

まだ知られていない才能が無数に存在するインディーズレーベルには、新しい音楽ビジネスを広げていく可能性が秘められており、CD/DVD等の販売やデジタル音源の配信などを通じて、新たなアーティストとの出会いを提供しています。





映像コンテンツ制作



質の高いオリジナル映像コンテンツの制作を通じて、
アーティストの魅力を引き出す

創業以来、アーティストとのコミュニケーションを通して、番組を中心としたオリジナル映像コンテンツを制作しています。放送だけでなく、デジタルプラットフォームにもマルチユース展開、現在は、質の高い映像制作技術を活かし、映画製作にも参画しています。

- ※(上段左より)「きゃりーぱみゅぱみゅの“なんだこれTV”」/「Suchmostyle」/「ローカリズム」
 (中段左より)「スペシャのヨルジュウ♪」/「モンスターロック」/「LIVE YEAH!!!」
 (下段左より)「INTERNATIONAL FLASH」/「オーラル・ジョブズ」/
 「SOUNDS LIKE SHIT:the story of HI-STANDARD」/「THE COLLECTORS ~さらば青春の新宿JAM~」



ライブ・イベント企画運営



ライブやイベントの企画運営を行い、
アーティストとクリエイター、そして人々との出会いと感動をつくる

大物アーティストから期待の新人まで幅広いアーティストが出演する世界遺産富士山のふもとで開催される夏フェス「SWEET LOVE SHOWER」をはじめ、スペースシャワー TVの視点で音楽シーンを総括しさまざまな功績をあげたアーティストとクリエイターに感謝と敬意を込め表彰するアワード「SPACE SHOWER MUSIC AWARDS」、2001年よりスタートした新人アーティストの登竜門「スペースシャワー列伝」、アウトドアブランド「THE NORTH FACE」とコラボレーションしたアウトドアイベント『MOUNTAIN FESTIVAL』など、当社の制作力やプッキング力を活かしたライブ・イベントの企画運営を行っています。

価値を広める

アーティストやクリエイターが創り上げた作品を、多様なメディア機能を駆使し、ユーザーへ届けます。時代の変化をキャッチアップし、最適なコミュニケーションルートを用い、アーティストとクリエイターの魅力や新しい文化を世の中に広めています。



音楽専門チャンネル



さまざまなジャンルの音楽情報を網羅した
音楽テレビ番組を24時間届ける

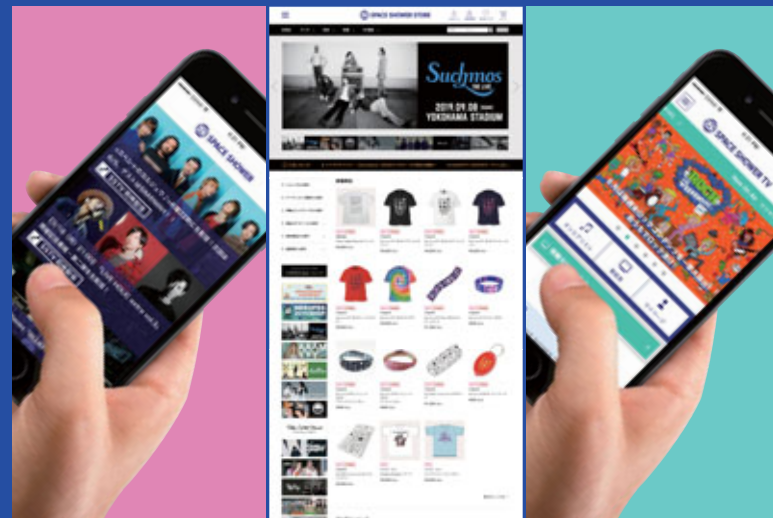
日本のロックやポップスを中心に、邦楽・洋楽・メジャー・インディーズを問わずさまざまなジャンルを網羅した「スペースシャワー TV」と、ヒット曲やスタンダード曲を中心にみんなで楽しむ「ポップミュージックステーション スペースシャワー TVプラス」の2チャンネルを24時間放送で運営しています。

 SPACE SHOWER TV



デジタルサービス

(ウェブサイト制作 / アプリ制作 / EC サイト運営)



デジタルチャンネルを駆使し、
アーティストの魅力を伝える

スペースシャワーグループのウェブサイト制作運営や公式スマートフォンアプリの構築、多彩なアーティストグッズを販売するECサイトの運営など、さまざまなデジタルチャンネルを通じてアーティストの魅力を伝えています。

 SPACE SHOWER TV  SPACE SHOWER MUSIC  SPACE SHOWER STORE



デジタル音楽配信

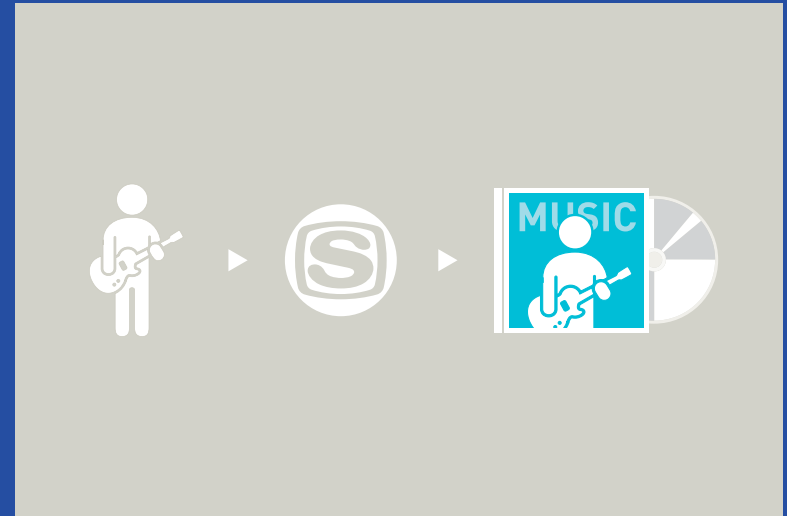


進化するデジタル配信サービスを通じ、
世界に向けて楽曲やアーティストのプロモーションを実現する

国内外500万曲以上の管理楽曲を日々進化する世界中の配信サービスへ供給し、収益分配を行うディストリビューション業務を中心に、多様なデジタルメディアを駆使した楽曲・アーティストプロモーションにも力を入れるなど、ヒット創出の一端を担っています。



CD/DVD 製造販売



製造・流通・ショップやECサイトでの販売を通じ、
作品を世に送り出す

CD/DVD等パッケージ商品の製造・流通・販売促進業務を行い、全国のCDショップ・通販サイトを通じ、大物アーティストや次代を創るアーティストの作品を世の中へ送り出しています。

価値を広める



海外展開



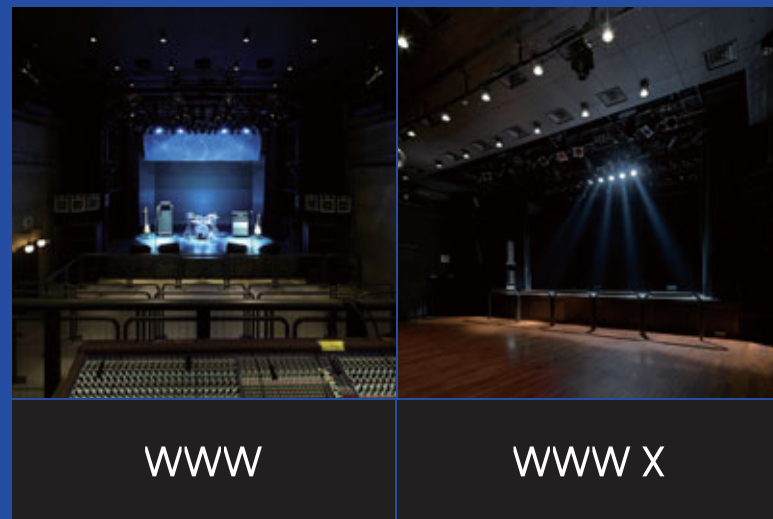
海外に向けた音楽配信や番組販売、
そしてアジアツアーにより、価値を世界に届ける

国内外の企業と提携し、海外向けの音楽配信や自社番組の販売を行っています。また、クールジャパン機構の出資を受けて設立された(株)MCIPホールディングスにも出資参画。2017年には、共同主催で「スペースシャワー列伝」初のアジアツアーをタイ・シンガポール・台湾で開催、そして近年では、所属アーティストもアジアツアーなどを通じて、独自のマーケティングネットワークを広げています。

SPACE SHOWER TV SPACE SHOWER MUSIC SPACE SHOWER ENTERTAINMENT



ライブハウス



ライブスペースのプロデュース・運営・イベント企画制作を通じて、
音楽を中心としたカルチャーの現在を発信する

渋谷・スペイン坂のライズビル地下の「WWW」と上階の「WWW X」をプロデュース。その運営とイベントの企画制作もを行っています。それぞれ特性やキャパシティの異なる上下2店舗体制により個性豊かなラインアップを実現し、日々進化を遂げる国内外の多様な音楽・カルチャーの現在を発信しています。

WWW WWW X WWWB



書籍・雑誌



幅広いテーマや独自の切り口の書籍・雑誌の刊行により、
時代と文化へ豊かさを届ける

音楽・アート・ファッション・旅・ライフスタイルなど、幅広いテーマに独自の視点や切り口による書籍・雑誌を刊行することで、時代に風穴を開け、人々の心を豊かにするような文化を後世に残していく取り組みを行っています。

世の中への共感数

 × 
2,000組

レーベル/
 アーティスト
 契約数

現在、2,000以上のレーベルおよびアーティストと契約を結び、邦楽作品を中心としたCD/DVD等の販売やデジタル音源の配信などレーベル運営業務を行っています。アーティストやクリエイターの発掘から育成はもとより、当社のネットワークを活かした新人開発にも積極的に取り組んでいます。



CD/DVD
 年間リリース数

毎月およそ30タイトルのCDやDVDをコンスタントにリリースし続け、年間のリリース数は300タイトルに上ります。今後も、新しいカルチャーを持つ楽曲を世の中に広めていきます。

300タイトル

8,000



5,000,000曲

国内外に向けての
 累計配信楽曲数

毎月国内外から集まる約10万曲もの楽曲を配信。累計では500万曲以上の楽曲を全世界の配信サービスに向けて提供しており、今後もより多くの楽曲をより多くの人々へ届けていきます。



音楽出版管理楽曲数

自社でのリリース作品を中心に、邦楽・洋楽を問わず、14,300曲にも及ぶ楽曲の著作権を管理しています。さまざまな企画における複合的なプロモーションも展開しています。

14,300曲

0,000世帯

スペースシャワーTV 視聴可能世帯数

1989年の開局以来、独自の視点で本物の音楽を提供し続ける、日本で初めての音楽専門チャンネル。視聴可能世帯数は約800万世帯となり、そのスケールは音楽専門チャンネルのうちNo.1の実績を誇るメディアです。

75,000人/3日間

SWEET LOVE SHOWER 2018 入場者数

スペースシャワー TV初の音楽イベントとして、1996年に日比谷野外音楽堂で開催され、2015年には20周年を迎えた老舗イベント。2007年に規模拡大のため山中湖畔に会場を移してからその人気は加速し、2018年の開催では3日間で延べ75,000人の来場者を記録しました。

SPACE SHOWER
SWEET
LOVE
SHOWER



625組 / 141回

スペースシャワー列伝 総出演組数

ブレイクが期待される新進気鋭アーティストの魅力をライブを通して伝え続けてきた「スペースシャワー列伝」。2001年にスタートし、今では新人アーティストの登竜門といわれるまでのライブイベントに成長しました。今後も新しい音楽シーンの波を創り出していきます。

WWW

300,000人

WWW、WWW X 年間入場者数

年間計30万人の来場者で賑わう「WWW」と「WWW X」。地下「WWW」は、元映画館の構造を活かした客席に段差のある劇場型ホール設計やハイスペックな音響・照明・映像設備が、音楽ファンやアーティストから根強い支持を集めています。2016年9月にオープンした上階の2号店「WWW X」のキャパシティはひとまわり大きく、一体感を生む柱のないフラットなフロア設計と、世界標準で最先端の音響・照明・映像設備を採用。それぞれ異なる個性と魅力を備えた2店舗体制により、多彩なプログラムが実現可能です。

WWW X

次代を見据えた挑戦

世の中の流れ

- 1985 衛星の民間への開放
- 1989 大手商社が衛星ビジネスに参入 (20~30チャンネルが配信開始)
- 1996 スカパー!が1996年にスタートしてから多チャンネルが急速に普及
- 2001 iPodが発売される
- 2003 iTunes Music Store サービス開始

- 2006 YouTubeの台頭
- 2008 日本でiPhone 3G発売開始
- 2010 スマートフォンの市場拡大

スペースシャワーの歴史



1989~

音楽メディアビジネス確立

- 1989 1月、(株)スペースシャワー創業¹
12月、ケーブルテレビ局へ音楽専門チャンネル スペースシャワーTVの番組供給開始
- 1992 委託放送事業者としてCSアナログ放送サービス開始
- 1996 CSデジタル放送サービス開始
(スペースシャワーTV、e-天気.net [開始当時名称: ウェザーシャワー 24])
社名変更により、(株)スペースシャワーネットワークとなる
当社初めてのライブイベント
「SWEET LOVE SHOWER」²を日比谷野外音楽堂にて開催
- 2001 CSチャンネルとしては初めて、
東京証券取引所 JASDAQスタンダードに株式を上場 (株式を日本証券業協会に店頭登録)
- 2003 携帯電話上での有料着信メロディー事業「スペースシャワー Mobile」開始



2006~

音楽コンテンツビジネスへの進出

- 2006 音楽パッケージ商品の物流および販売会社 スリーディーシステム(株)を連結子会社化し、パウンディ(株)に社名変更
- 2007 Pヴァイン・グループ ((株)ブルース・インターアクションズ、Pヴァイン・レコード(株)、(株)ベトロ・ミュージック)を連結子会社化
規模拡大のため「SWEET LOVE SHOWER」を山梨県山中湖交流プラザきららに会場を移す
- 2008 子会社の(株)ブルース・インターアクションズ³、Pヴァイン・レコード(株)、(株)サブスタンスの3社を合併(存続会社: (株)ブルース・インターアクションズ)
- 2009 スペースシャワーTVの視聴可能世帯数が音楽専門チャンネルとしては国内最多の800万世帯を突破
- 2010 東京・渋谷にライブハウス「WWW」をオープン⁴



1

SPACE SHOWER
SWEET
LOVE
SHOWERSM

2

blues interactions, inc.

3



4

- 2011 クールジャパン戦略推進
2014 ライブ市場が売上・公演数共に大幅増

- 2015 サブスクリプション型音楽配信サービスが本格始動
2016 訪日外国人の増加に伴うインバウンド市場の拡大

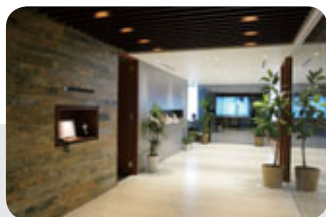


アーティスト
マネジメント

2011~

総合音楽エンタテインメント企業への転換

- 2011 音楽専門チャンネル「ミュージックビデオ専門/VMC」のチャンネル名称を変更
(新名称:100%ヒッツ!スペースシャワー TV プラス)
子会社の(株)ブルース・インターアクションズを(株)Pヴァインに社名変更
子会社の(株)ペトロ・ミュージックを(株)ブルース・インターアクションズに社名変更
子会社のバウンディ(株)と(株)ブルースインター・アクションズを事業譲受により、
(株)スペースシャワーネットワークに経営統合
- 2014 音楽ソフト事業の積極的展開のため、
スペースシャワーミュージックが本格始動⁵



5



海外展開



コラボカフェ

2015~

アーティストやクリエイターの価値最大化 コンテンツビジネスの強化・推進

- 2015 表参道・原宿エリアにエンタテインメント・コラボレーション・カフェ「**AREA-Q**」をオープン⁶
- 2016 秋葉原エリアでコンセプトカフェ事業を展開するインフィニア(株)とファンクラブ事業を展開するコネクトプラス(株)を連結子会社化
9月、「WWW」上階にライブハウス2号店「**WWW X**」をオープン⁷
- 2017 4月、「AREA-Q」の2号店として同ビル内に「**AREA-Q ANNEX**」をオープン
- 2019 テンセント・ミュージック・エンターテインメント・グループと業務提携し
中国市場での楽曲配信を本格始動



6

WWW X

7

事業一覧

スペースシャワーネットワークは、グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開する総合音楽エンタテインメント企業です。

株式会社スペースシャワーネットワーク



総合音楽エンタテインメントを担うコンテンツプロデュース集団

日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワー TV」の運営をはじめ、ライブイベントの主催、スマートフォン・PC向けデジタルコンテンツの制作、映画製作など、音楽を中心とした多彩なコンテンツをプロデュースし、さまざまなメディアや表現方法を用いてアーティストやクリエイターの魅力を伝え続けています。



音楽ソフト事業のあらゆる機能を網羅

アーティストマネジメント、ライブ制作、音楽制作、アーティストグッズ製造・販売、音楽レーベル運営、デジタル音楽配信、CD製造・販売、音楽著作権開発・管理などの音楽ソフト事業を集約し、一元運営を実現。インディペンデント性を保持しつつ、あらゆる音楽ビジネス領域でアーティストを強力にサポートし、ユーザーとの橋渡し役を担い続けています。

連結子会社

SEP

株式会社セップ

クリエイティブに特化した業界 No.1 の映像制作会社

音楽映像専門のクリエイター集団として、日本のミュージックビデオの歴史と共に歩んできました。以来、高いクリエイティビティとアーティストとの信頼関係を基盤に音楽映像のみにとどまらず、CM・企業VP・WEB映像など、年間400作品以上の幅広い映像コンテンツの企画制作に取り組んでいます。



株式会社スペースシャワーフーガ

日本発、真のインディペンデント・グローバルディストリビューター

日本の音楽業界で豊富な経験と実績を持つスペースシャワーと、業界最先端のデジタルディストリビューションシステムとトップクラスのマーケティングを世界展開するFUGAによるジョイントベンチャーです。



インフィニア株式会社

秋葉原で人気 No.1 メイドカフェ「@ほお〜むカフェ」の運営会社

日本ポップカルチャーの発信地「秋葉原」において、そのエンタテインメント性とおもてなし精神で、国内客のみならず訪日外国人からも熱い支持を集め、年間来店者数は50万人を超えます。2019年にはインバウンド客で賑わう大阪難波にも出店。所属メイドで構成するユニットは、国内外のイベントに出演し、秋葉原のメイドカルチャーを発信し続けています。



CONNECT+

コネクトプラス株式会社

アーティストとファンのコミュニティの場を創るファンクラブ事業

ファンクラブおよびファンサイトの運営を通じて、アーティストとファンをつなぐサービスを提供しています。グループ各社の機能とも連携しながら、アーティストの価値や、ファンの満足度を高めるサービス/コンテンツの企画開発に取り組んでいます。

会社概要 (2019年3月31日)

| | |
|------------|--------------------|
| 社名 | 株式会社スペースシャワーネットワーク |
| 創業 | 1989年1月5日 |
| 設立 | 1996年12月24日 |
| 資本金 | 1,920,579,052円 |

代表者 | 代表取締役会長 近藤 正司
代表取締役社長 林 吉人

従業員数 | 202名(単体)、305名(連結)

| | |
|------------|--|
| 事業所 | <p>本社 〒106-8011 東京都港区六本木3-16-35 イースト六本木ビル TEL : 03 (3585) 3242 (代表) FAX : 03 (3585) 3667</p> <p>大阪オフィス 〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地2-6-23 MF 桜橋ビル10F TEL : 06 (6455) 0055 (代表) FAX : 06 (6455) 0066</p> <p>福岡オフィス 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-4-38-1106 TEL : 092 (738) 2735 (代表) FAX : 092 (738) 2733</p> <p>WWW 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町13-17 ライズビル地下/2F WWW X</p> |
|------------|--|

主な連結子会社 | 株式会社セップ、株式会社スペースシャワーフーガ、インフィニア株式会社、コネクトプラス株式会社

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---------|--------|-----|--------|---------|------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|--------|--------|-------|------|--------|-----|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|--|--|
| 役員 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">代表取締役会長</td> <td style="width: 33%;">近藤 正司</td> <td style="width: 33%;">監査役</td> <td style="width: 33%;">長谷川 裕朗</td> </tr> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>林 吉人</td> <td>社外監査役</td> <td>柳葉 聡</td> </tr> <tr> <td>取締役 常務執行役</td> <td>案納 俊昭</td> <td>社外監査役</td> <td>伊藤 修平</td> </tr> <tr> <td>取締役 常務執行役</td> <td>北島 直樹</td> <td>上席執行役員</td> <td>石田 美佐緒</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>梶原 浩</td> <td>執行役員待遇</td> <td>辻 昇</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>清水 賢治</td> <td>執行役員</td> <td>山中 幹司</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>繁田 光平</td> <td>執行役員</td> <td>藤島 克之</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>中村 伊知哉</td> <td>執行役員</td> <td>名取 達利</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>三浦 文夫</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 代表取締役会長 | 近藤 正司 | 監査役 | 長谷川 裕朗 | 代表取締役社長 | 林 吉人 | 社外監査役 | 柳葉 聡 | 取締役 常務執行役 | 案納 俊昭 | 社外監査役 | 伊藤 修平 | 取締役 常務執行役 | 北島 直樹 | 上席執行役員 | 石田 美佐緒 | 社外取締役 | 梶原 浩 | 執行役員待遇 | 辻 昇 | 社外取締役 | 清水 賢治 | 執行役員 | 山中 幹司 | 社外取締役 | 繁田 光平 | 執行役員 | 藤島 克之 | 社外取締役 | 中村 伊知哉 | 執行役員 | 名取 達利 | 社外取締役 | 三浦 文夫 | | |
| 代表取締役会長 | 近藤 正司 | 監査役 | 長谷川 裕朗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 代表取締役社長 | 林 吉人 | 社外監査役 | 柳葉 聡 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取締役 常務執行役 | 案納 俊昭 | 社外監査役 | 伊藤 修平 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取締役 常務執行役 | 北島 直樹 | 上席執行役員 | 石田 美佐緒 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社外取締役 | 梶原 浩 | 執行役員待遇 | 辻 昇 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社外取締役 | 清水 賢治 | 執行役員 | 山中 幹司 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社外取締役 | 繁田 光平 | 執行役員 | 藤島 克之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社外取締役 | 中村 伊知哉 | 執行役員 | 名取 達利 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社外取締役 | 三浦 文夫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2021年6月29日現在)

大株主の状況

| 株主名 | 所有株式数(株) | 議決権比率(%) |
|----------------------------|-----------|----------|
| 伊藤忠商事株式会社 | 3,896,000 | 34.38 |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス | 1,886,400 | 16.64 |
| KDDI株式会社 | 1,500,000 | 13.23 |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES | 859,200 | 7.58 |
| 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ | 160,000 | 1.41 |
| 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント | 118,400 | 1.04 |

(2019年3月31日現在)

連結決算の状況

| | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 |
|-----------------|----------|----------|-------------|
| 売上高 | 14,799 | 15,086 | 14,930 |
| 経常利益 | 626 | 636 | 288 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 349 | 333 | 147 |
| 総資産 | 7,912 | 8,045 | 8,029 |
| 純資産 | 4,178 | 4,398 | 4,442 (百万円) |



共感、共鳴、そして共創へ。

私たちが信じた可能性は、人々の心を捉え、人々の心を動かし、人々の心に新たな豊かさを創造する。

その魔法のような出来事を私たちは何度も目の当たりにしてきた。

だから私たちは信じ続ける。どんな時、どんな場所でも、音楽の持つ無限の可能性を。





We Love Music.



